

# ふえる肥満児！

## — 昭和51年度学校保健統計調査から —

この調査は、学校保健統計調査規則に基づいて児童・生徒及び幼児に関する発育（身長、体重、胸囲、座高）、健康状態（疾病異常）を昭和51年4～6月に県内の幼稚園、小学校、中学校、高等学校において実施した健康診断の結果を調査し、学校保健行政上の基礎資料を得ようとするものである。

なお、これらの数値は概数であり、後日文部省から公表される数値が確定数であるので、あらかじめご了承願いたい。

### 結果の概要

#### 1. 幼児、児童及び生徒の体位

51年度における幼児、児童及び生徒の体位は、昨年と同じ傾向を示している。

表1は、過去5年間の平均値と比較した結果であるが、男女ともにほとんどの年齢で伸びている。

とくに、小学5年生から中学にかけて大きく伸びており、過去の全国の数値も同じような結果を示し、この時

期は成長過程における肉体的、精神的に大事な時期といふことが、結果にはっきりと表われている。

#### 2. 増える肥満児……幼児、児童及び生徒の健康状態

表2は、疾病異常を被患率別にみたものであるが、教育上、とくに配慮が必要とされている「肥満傾向」にある児童は、小学生に多くみられ、これを昭和50年度と比較すると男子は1.3%から1.8%、女子は1.0%から1.3%と増加する傾向にあるのが気にかかることである。

また、へんとう肥大、口腔等の疾病異常をもつ児童があいかわらず多いが、公害などによる生活環境の変化による影響が、こんなかたちであらわれているのではない。

う歯、近視もあいかわらず高い被患率を示しているが、とくに近視は、高学年になるほど高くなり、高等学校における生徒の被患率は男子33.3%、女子は44.0%となり、女子の被患率は男子生徒のそれを上回り、約2人に1人の高い割合を示している。

表1 性別、年齢別に見た身長、体重、胸囲、座高の平均値

区分	身長			体重			胸 囲			座 高							
	昭和51年度	5年平均	差	昭和51年度	5年平均	差	昭和51年度	5年平均	差	昭和51年度	5年平均	差					
男	幼稚園 5歳	cm	110.0	110.0	—	kg	18.5	18.7	△0.2	cm	56.1	56.1	—	cm	62.1	61.9	0.2
		cm	115.2	114.8	0.4	kg	20.7	20.5	0.2	cm	57.5	57.3	0.2	cm	64.6	64.4	0.2
	小学校	7	120.9	120.3	0.6	23.1	22.8	0.3	59.6	59.4	0.2	67.1	67.0	0.1			
		8	126.2	125.7	0.5	26.0	25.3	0.7	62.1	61.6	0.5	69.7	69.5	0.2			
		9	130.9	130.7	0.2	28.7	28.1	0.6	64.3	63.9	0.4	71.7	71.6	0.1			
		10	136.7	135.5	1.2	32.1	31.0	1.1	66.8	66.0	0.8	74.0	73.6	0.4			
		11	142.2	140.9	1.3	35.5	34.4	1.1	69.1	68.6	0.5	76.7	76.0	0.7			
	中学校	12歳	148.6	147.2	1.4	40.5	39.3	1.2	72.5	71.6	0.9	79.1	79.1	—			
		13	155.7	154.6	1.1	45.5	44.6	0.9	75.5	75.0	0.5	82.8	82.5	0.3			
		14	161.9	160.8	1.1	51.0	50.1	0.9	79.4	79.1	0.3	86.0	85.9	0.1			
	高等学校	15歳	165.9	164.8	1.1	55.9	55.0	0.9	82.6	82.2	0.4	88.8	88.5	0.3			
		16	167.8	167.1	0.7	57.9	57.0	0.9	83.9	83.8	0.1	89.8	89.5	0.3			
		17	168.8	168.2	0.6	59.2	58.7	0.5	85.3	85.3	—	90.6	90.0	0.6			
	女	幼稚園 5歳	cm	108.8	109.0	△0.2	kg	18.4	18.3	0.1	cm	54.8	54.8	—	cm	61.7	61.5
cm			114.0	114.0	—	kg	20.3	20.1	0.2	cm	56.2	56.0	0.2	cm	63.9	64.0	0.1
小学校		7	120.3	119.4	0.9	23.1	22.4	0.7	58.3	58.2	0.1	66.7	66.6	0.1			
		8	125.6	125.1	0.5	25.5	25.0	0.5	60.7	60.2	0.5	69.2	69.1	0.1			
		9	130.8	130.5	0.3	28.3	28.0	0.3	62.9	62.7	0.2	71.5	71.5	—			
		10	137.7	136.5	1.2	32.6	31.6	1.0	66.9	65.6	1.3	74.6	74.3	0.3			
		11	144.2	142.7	1.5	37.2	36.0	1.2	70.5	69.4	1.1	77.8	77.4	0.4			
中学校		12歳	149.3	148.3	1.0	42.0	41.5	0.5	74.1	73.8	0.3	80.7	80.8	△0.1			
		13	153.1	152.1	1.0	46.3	45.7	0.6	77.5	76.9	0.6	82.8	82.8	—			
		14	154.6	154.1	0.5	49.3	48.8	0.5	79.6	79.3	0.3	83.9	84.0	0.1			
高等学校		15歳	155.6	155.2	0.4	51.2	50.9	0.3	80.8	80.6	0.2	85.1	84.6	0.5			
		16	156.0	155.5	0.5	52.1	51.9	0.2	81.7	81.5	0.2	85.2	84.9	0.3			
		17	156.3	155.7	0.6	52.5	52.3	0.2	81.9	82.1	△0.2	85.2	84.9	0.3			

表2 学校種類別，被患率別に見た疾病異常

区 分	幼 稚 園	小 学 校	中 学 校	高 等 学 校
90%以上	う 歯	う 歯	う 歯	う 歯
%以上 %未満 40 ~ 50	—	—	—	裸眼視力 1.0未満の者で近視(女)
20 ~ 40	—	—	裸眼視力 1.0未満の者で近視	裸眼視力 1.0未満の者で近視(男)
10 ~ 20	—	裸眼視力 1.0未満の者で近視(女)，寄生虫卵保有者(男)	—	—
5 ~ 10	へんとう肥大，寄生虫卵保有者	へんとう肥大，寄生虫卵保有者(女)，その他の歯疾口腔の疾病異常(女)，裸眼視力 1.0未満の者で近視(男)	その他の歯疾口腔の疾病異常	その他の歯疾口腔の疾病異常，尿検査(男)
3 ~ 5	—	色覚異常(男)	へんとう肥大	遠視・乱視，色覚異常(男)，尿検査(女)
2 ~ 3	—	尿検査(男)	色覚異常(男)，尿検査(男)	へんとう肥大(男)
1 ~ 2	裸眼視力 1.0未満の者で近視，尿検査	難聴(男)，結膜炎，その他の眼疾異常，鼻いん頭炎，その他の歯疾口腔の疾病異常，肥満傾向，尿検査(女)	遠視・乱視(女)	その他の眼疾異常(女)，その他の耳疾異常(女)，へんとう肥大(女)，鼻いん頭炎
0.5 ~ 1	結膜炎，肥満傾向，せき柱胸郭異常(男)，ぜん息(男)，その他の疾病異常，その他の歯疾口腔の疾病異常	遠視・乱視(男)，難聴(女)，その他の耳疾異常，せき柱胸郭異常，心臓疾患異常(男)，ぜん息(男)，その疾病異常	弱視(女)，遠視・乱視(男)，難聴，結膜炎(男)，慢性副鼻腔炎(男)，肥満傾向，せき柱胸郭異常(男)，心臓疾患異常(男)	難聴(男)，結膜炎，その他の耳疾異常(男)，慢性副鼻腔炎(男)，肥満傾向，その他の疾病異常(女)
0.1 ~ 0.5	トラコーマ，その他の眼疾異常，鼻いん頭炎，遠視・乱視，その他の鼻いんとう疾患異常，栄養不良(女)，伝染性皮膚疾患，せき柱胸郭異常(女)，心臓疾患異常，ぜん息(女)，運動機能障害(男)，言語障害(男)	弱視，矯正視力欄の左記以外の者，色覚異常(女)，トラコーマ，中耳炎，慢性副鼻腔炎，アデノイド，その他の鼻いんとう疾患異常，栄養不良(女)，伝染性皮膚疾患，心臓疾患異常(女)，ぜん息(女)，腎臓疾患，脳性小児麻痺(男)，運動機能障害，身体虚弱，言語障害，精神薄弱，結核(男)	弱視(男)，矯正視力欄の左記以外の者，色覚異常(女)，結膜炎(女)，その他の眼疾異常，中耳炎，その他の耳疾異常，慢性副鼻腔炎(女)，鼻いん頭炎，その他の鼻いんとう疾患異常，栄養不良(男)，せき柱胸郭異常，伝染性皮膚疾患，心臓疾患異常，ぜん息，腎臓疾患，運動機能障害，言語障害，精神薄弱，その他の疾病異常	弱視(女)，矯正視力欄の左記以外の者，色覚異常(女)，難聴(女)，その他の眼疾異常(男)，中耳炎，慢性副鼻腔炎(女)，その他の鼻いんとう疾患異常，せき柱胸郭異常，伝染性皮膚疾患(男)，心臓疾患異常，ぜん息(男)，腎臓疾患，運動機能障害，結核(男)，その他の疾病異常(男)
0.1%未満	中耳炎，慢性副鼻腔炎(女)，アデノイド，脳性小児麻痺(女)，身体虚弱(男)，言語障害(女)，運動機能障害(女)，精神薄弱(男)	喉頭炎(男)，栄養不良(男)，寄生虫病(女)，脳性小児麻痺，結核(女)	トラコーマ，アデノイド，喉頭炎(女)，栄養不良(女)，寄生虫病(男)，身体虚弱，結核	弱視(男)，アデノイド(女)，栄養不良，伝染性皮膚疾患(女)，脳性小児麻痺(女)，身体虚弱，言語障害(女)，結核(女)

注：被患率 =  $\frac{\text{疾病・異常該当者数}}{\text{検査項目別受検者数}} \times 100.0$

(男)，(女)の付記されていないものは，男女ともに該当する場合である。

(人口学事統計係 前 沢)